

「片町夜曲(セレナーデ)」 # 5 原作シナリオ

山崎浩治

マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」 #5 原作シナリオ

#1 「スナック香澄」店内

店内の時計、午前1時を回っている。

アヤカ「いらっしゃいませ！」

カウンターの中で笑顔で客を迎える美咲アヤカと香澄ママ。

アヤカのM「あたしがバイトしてる『スナック香澄』は仕事を終えてお腹を空かせたホステスさんたちのために、おいしい夜食を用意しています。それを楽しみにホステスさんたちが毎日のようにお店にやってくるんです」

やってきたのはキャバ嬢の美鈴と楓(20代前半)。

美鈴「(座って)お腹空いたあ。香澄ママ、熱々の卵かけご飯！」

楓「あたしはピザの出前、お願いします！」

美鈴「香澄ママのおいしいご飯があるのに、どうしていつも出前取るのよ、楓！」

楓「だって出前のピザが好きなんだもん」

アヤカのM「売れっ子キャバ嬢の美鈴さんと、その妹分の楓さん。楓さんは美容師アシスタントで、週2~3回キャバクラ『レジェンド』でバイトしています。いつもはおとなしくて目立たない人なのに、ある日、注目を集めることになって……」

#2 「スナック香澄」の看板(別の日の深夜)

絵里の声「いくらバイトだからって、きちんとあいさつさせなきゃダメだよ！」

#3 同・店内

絵里「美鈴の教育が悪いんじゃないの！」

ホステスの絵里がカウンターで美鈴に口を尖らせている。

美鈴「ごめんなさい。今度よく言っときます」

その様子を心配そうに見守るアヤカと香澄ママ、常連客の吉岡。

絵里「お水の女があいさつしなくていいのは、奥さんと一緒にいるお客さんとすれ違った時だけなんだから！」

アヤカのM「絵里さんは『スナック香澄』の常連で、ラウンジに勤めるホステスさん。なんでもこの日、出勤途中の犀川大橋で楓さんと出会ったのに、知らんぷりして通り過ぎていったというんです」

香澄ママ「楓ちゃん、あいさつしないような子じゃないのにね」

アヤカ「あたしにも、いつもニコニコ声かけてくれますよ！」

美鈴「最近、楓の様子が変なんだよね。しょっちゅう、お寺や神社に行ったってツイートしてるし。(手元の端末を見て)香林寺に小橋菅原神社、新天地地藏、神明宮……」

香澄ママ「(閃いて)美鈴ちゃん、そこはみんなパワースポットよ」

吉岡「てことは楓ちゃん、願掛けでもして歩いてるのか！」

アヤカのM「この人は香澄ママに片思いしてる常連客の吉岡さん」

アヤカ「何を願掛けしてるんでしょうか」

吉岡「そりゃ金運向上さ」

美鈴「いやいや、ダイエットかもね」

香澄ママ「若い女の子の願掛けって言えば、恋に決まってるでしょ」

アヤカのM「数日後、楓さんが美鈴さんと店にやってきました」

4 同・店内(別の日の深夜)

吉岡「犀川で七つ橋渡ししてたって？」

店内にはアヤカと香澄ママ、楓、美鈴、吉岡もいる。

アヤカ「七つ橋渡しって、七つの橋を渡れば願いが叶うっていう……」

香澄ママ「でも、七つ橋渡しは浅野川が有名よね」

美鈴「それが浅野川のはお彼岸か大みそかにやるのがならわしらしくて、楓、それまで待てないって……」

吉岡「で、手近な犀川でやっちゃった、と」

楓「(こくりと頷いて)はい」

香澄ママ「七つ橋渡しで橋を渡っている間、誰とも口を利いちゃいけないっていうのがルールだったよね」

アヤカのM「だから楓さんはあの日、絵里さんにあいさつしなかったのか！」

5 犀川大橋の上

すれ違う楓と絵里。

楓、絵里に顔を背けて、逃げるように走り去る。

6 もとの店内

吉岡「楓ちゃんは何を願掛けしてるんだい？」

楓「(顔を真っ赤にして)秘密です！」

美鈴「まさか、店で仲良くしてる定年退職した元校長センセが恋の相手じゃないでしょうね？」

お寺や神社のこと、いろいろ聞いてるんでしょ」

吉岡「元校長センセ……親子どころか、祖父と孫のような年の差じゃないか！」

一同が楓の顔を覗き込む。

楓「(恥ずかしそうにうつむいて)……」

その時、楓の腹の虫が「グ～」と鳴った。

楓「香澄ママ……ピザ、頼んでいいですか。あたし、お腹空いちゃった」

7 店内(時間経過)

ドアが開いて、ピザ屋のデリバリースタッフ(大学生のバイト・翔太)が入ってきた。

翔太「ピザの出前、お届けに上がりました！」

楓「おずおずと手を上げて)あ、こっちは……」

翔太「いつもありがとうございます!(とピザを渡す)」

楓「ご苦労様です……(モジモジしながら、代金を払う)」

相対したまま、微妙な雰囲気ですり込んでいた楓と翔太。

アヤカ「(その様子に気付いて)……？」

翔太「(おずおずと)お客さん……金沢北高校の1個下の……」

楓「(パッと表情が明るくなり)先輩、あたしのこと知ってたんですか！」

翔太「(恥ずかしそうに)かわいい子は目立つからな……」

楓「(真っ赤になってうつむく)……」

吉岡「君ら、高校の先輩後輩だったんだ……いままで気付かなかったの？」

翔太「自分は気付いてたんすけど、なかなか声かけられなくて……」

香澄ママ「楓ちゃんは？」

楓「(照れて何も答えられない)……」

美鈴「いつもピザの出前頼んでた理由が分かったわ。憧れの先輩に会いたかったんだね」

8 片町のメインストリート(楓の回想)

ピザ屋のバイクに乗って配達中の翔太。バイクに「宅配ピザ・トレビ」とある。

客を送りに出た楓が翔太のバイクを見送っている。

9 もとの店内

楓「(意を決して)先輩、来年大学卒業ですよ？ 就職決まりました？」

翔太「第一志望じゃないけど、決まったよ。受かったところが第一志望(とVサイン)」

楓「(万感の思いを込めて)……よかった」

アヤカ「(楓を見つめて)……願掛けが叶って、よかったですね楓さん」

楓「うん……あ!(思わず自分の口を押さえる)」

嬉しそうに顔を見合わせるアヤカ、香澄ママ、美鈴、吉岡。

アヤカのM「楓さんは憧れの先輩の就職祈願してたんです！」

翔太「いままで片町にはピザの出前でしか来たことがなかったけど、社会人になったら客として飲みに来るよ。そっちも頑張れな」

楓「うん！」

10 香林坊・貴船明神(別の日)

一途にお祈りをしている楓。

アヤカのM「今度は楓さん、縁結びの祈願を始めたようです」

11 犀川大橋の上

アヤカのM「吉岡さんは楓さんにあやかって、犀川の七つ橋渡りを始めました」

アヤカが橋にくと、向こうから吉岡がやってくる。

吉岡、アヤカを発見した途端、こそこそと逃げ出す。

アヤカ「(吉岡を追って)吉岡さん、何願ってるんですか？ 香澄ママとの結婚ですか？」

吉岡「アヤカちゃん、頼むからオレに話かけるな！(と逃げて行く)」

アヤカのM「片町周辺には願掛けスポットが多い、って香澄ママが言ってました。片町では今日も誰かが誰かのために祈ってる――」

吉岡を見送ったアヤカがニッコリ微笑んだ。

おしまい